

平成30年度 関東同窓会総会・懇親会 66～133期約200名が日比谷に集う



逍遙歌の大合唱で学生時代がよみがえる！

7月6日の夜、東京・日比谷の日本プレスセンターで、静中・静高関東同窓会の2018年総会・懇親会が開催されました。幹事は我々96期が担当。当日は生憎の雨にもかかわらず、66期から133期までの同窓生約200名にご出席いただきました。母校から中根正裕副校長、坂田算浩教頭、本部同窓会から志田洪顯副会長、柴田尚関西支部会長、谷津剛也中部支部事務局長、事務局の兼高康倫静高教諭を来賓に迎え、盛大な会となりました。

総会に先立ち、「古書コミ」（会報第85号9頁参照）の平成29年度活動収益による図書券が関東同窓会多賀谷秀保会長から母校中根副校長に贈呈されました。

総会は、関東同窓会多賀谷会長と杉山順一副会長の議事進行によって議案全てが承認されま

した。

恒例の講演は、96期代表、独立行政法人都市再生機構の芦野光憲君が「静岡をモチーフに都市再生政策を語る」同窓会を通じたソーシャル・キャピタル醸成の提言」をテーマに、米仏日の都市再生事例等を踏まえ、市内呉服町商店街の組織等の先駆的取り組みを評価。これら組織づくりを市全体に広めて街の価値を高めるエリアマネジメントの重要性と、その効果を高めるソーシャル・キャピタル（公と民間の絆）の醸成に同窓会の固い繋がりが大切である事を提言し、好評を博しました（要旨後述）。

続く懇親会は、本部同窓会志田副会長のご挨拶、66期・原野谷朋司様による乾杯ご発声をいただき、開宴。96期・田辺信宏静岡市長による、静岡愛と静中静高愛に溢れるビデオメッセージが流れ、また、甲子園を目指す戦



同窓生の皆様をお迎えする準備も整って...

いを目前に控えた母校野球部の活動などを88期・阿部裕之静高野球部後援会長が熱を込めてご報告され、会は盛り上がりを見せました。その後、同窓会秘蔵写真がスクリーンに映し出される中、会場には和やかな歓談の輪が広がりました。後半は、我々96期が2年生時に迎えた静中・静高創立百周年を記念する応援歌「岳南健児意気高し」（作詞95期・長田雅孝様、作曲96期・大澤理君）の作曲者自らの指揮による合唱を皮切りに、96期代表幹事大澤君と次期幹事97期杉田太志君のご挨拶を経て、94期・栗原千朗様、96期・近藤乾

静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第86号
平成30年12月15日発行
編集人 八牧浩行
(82期)



高 印

目次

- 1～2頁 総会・懇親会 講演「静岡・都市再生」
- 3頁 たかが同窓会：僕のソーカイ見聞録
- 4～7頁 特集「私と俳句」 「駅南猛ダッシュ」
- 「妄想俳句鑑賞」「言葉の面白さ」
- 7頁 芙蓉花咲く球友の絆
- 7～8頁 被災地の秋祭りに絆を実感
- 9頁 「古書コミ」 母校に図書券贈呈 「レシピ」
- 10頁 自著紹介 大人女子の社会科学見学「芙蓉乃会」

君の応援指導の下、ご出席の皆様による校歌・希望の歌・逍遙歌の大合唱とエールで盛大に締め、会はめでたくお開きとなりました。

幹事96期としては、代表大澤君を中心に、お越しの皆様心地よいひと時をお過ごしいただくべく準備を進め、当日は静岡からの応援組も含め、運営に当たりました。至らぬ点多かったことと存じますが、大過無く会が進められましたのも、お世話になりました多賀谷会長を始めとする理事の皆様方、また、お越しいただいた同窓の皆様のお蔭と、ただただ感謝申し上げる次第です。有難うございました。



打ち解けた雰囲気の中、和やかな歓談が続きます

講演(要旨)

静岡をモチーフに都市再生政策を語る — 同窓会を通じたソーシヤル・キャピタル醸成の提言

独立行政法人都市再生機構 芦野 光憲(96期)



私は静高卒業後、早大で都市計画を学び、都市再生機構に就職して、東京都心から静岡を含めた全国の都市再生に資する都市開発、米英仏のまちづくりの研究並びに早大理工学術院招聘研究員も兼務し、都市再生に関する研究や実務を担ってきました。

それらを踏まえ、日本における都市再生のプロセスは、

- ①政策・施策・構想策定
- ②プロジェクト計画策定
- ③プロジェクト実施
- ④企業誘致
- ⑤まちの価値を高める活動「エリアマネジメント」

というサステナブル(持続可能)な都市の発展がとて重要であり必要なことであると考えています。この動きが止まれば都市

は衰退します。そうならないため、本講演後にビデオメッセージをいただいた同期の田辺静岡市長が国連ニューヨーク本部のSDGs会議(SDGsとは、二〇一五年に国連で採択された、Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」のこと)で先駆的な静岡市のサステナブル施策の取り組みを強調して世界の関係各国に提案しているように、今後の都市の発展にとって、サステナブルな取り組みは必要不可欠なことなのです。特に⑤で示すエリアマネジメントによって開発の効果とまちの価値を高めることは、②の計画策定時に住民参加の計画策定を加えることから始めるのが有効であり、本講演のテーマである「ソーシヤル・キャピタルの醸成」にもつながると考えています。また、都市再生には、当然のことながら、防災という概念も含まれています。

えた公園等を併設する土地利用に更新することで、都市の付加価値を向上させ、さらには企業・大学を誘致し、それら関係者とともにまちづくりや防災活動を行うエリアマネジメントによりサステナブルな都市の成長を促す事例もあり、それらを実施するために行われてきた都市政策や商業政策施策の変遷について静岡をモチーフに論じさせていただきます。

- ①一店逸品運動に見られる販売促進活動
 - ②環境整備活動
 - ③まちづくり活動
 - ④ランドオーナー会議
- をはじめとするその他の活動を展開していますが、特に一店逸品運動とランドオーナー会議は全国に先駆けた商業施策で、これらの活動が静岡の都市再生のための原点であり、これを周辺に伝播できれば、静岡の都市再生の実現につながると考えます。このような静岡市での取り組みは、日本の先駆的事例であり、全国にも紹介させていただいてきました。
- 全国的にも都市政策から商業政策を経て都市再生政策に変遷する中で、静岡の都市再生に必要なものは、
- ①空き店舗や工場跡地等に立地する企業の誘致・新産業の育成及び大学の立地誘致
 - ②広域的な企業誘致や新産業を育成するまちづくり組織の充実
- であると考えています。
- 静岡市が応用できそうな都市再生の海外事例として、静岡市と人口推移等が近似しているアメリカ・サンフランシスコのアイデアがあります。
- ①地震等の大規模災害に備えた防災機能を有する広場等を充

実させ都市を改造

- ② 中心市街地とその周辺地区の回遊性を良くすることで、都市全体を再生。それを交通システム改善で補完
- ③ 地元企業などが参加して、住民参加活動を誘発
- という3点です。

これまでの考察をまとめると、静岡市の都市再生・まちづくりの鍵は、魅力ある「まち」にすることで、東京との近接性や静岡の企業や歴史等を活かし

たかが同窓会、

されど同窓会 17回

僕のソーカイ見聞録

71期 浦田 彰

僕のおじいちゃんは毎年7月になるとソワソワします。関東同窓会のソーカイがあるからです。今年も7月6日の朝、早起きしたおじいちゃんはお風呂に入ったり、髭を剃ったり、お母さんにワイシャツにアイロンをかけてもらったり、自分で靴を磨いたりソワソワしています。僕が「おじいちゃん、楽しそうだね」って冷やかすと「楽しいさ、きょうは年に一度同級生みんなに会うんだ、オオイにキウカツをジョするのさ」僕が「同窓会ってオジイサンた

た企業誘致・新産業育成・大学等の立地誘導、リブワーク（住み働くこと）、観光等の施策の推進、更なる文化・技術の醸成と発信、防災公園機能の再配置、LR T（次世代型路面電車システム）をはじめとする次世代交通の進展、まちづくりのためのエリアマネジメント組織や人材育成の充実が必要だと感じています。さらに静岡では、それらを補完するような、まちづくりや防災意識向上のための市民相

互のネットワークの強化が重要と考えます。これを包含する概念が「ソーシャル・キャピタル」（人々の協同行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることができる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の概念）と呼ばれるもので、これは、行政からの働きかけや大学等での専門教育を受けた人材を通じて市民に浸透し、醸成されるものと考えます。その醸成を高めるのに、同窓

会の絆が重要な役割を担うのです。例えば災害が発生した場合、自助・公助・共助の取り組みが必要になるが、この中の「共助」は日頃からソーシャル・キャピタルを醸成し、静中・静高関東同窓会に代表されるようなインフォーマルな組織の活動の中で、強い会員間のネットワークを作り上げることと有効に働くようになります。これからも関東同窓会の固い繋がりを大切にしていきたいと思います。

ちの集まりでしょ」というと「否！ 否！ 若い人たちや女の子の人も大勢来るんだ。そうさ！ きょうはお前といっしょに行こう。頼みがあるんだ、そのリュックを背負ってくれないか、中に10冊本が入っている、同窓会の古書の係に渡すんだ。読み終わった本を皆から集めて、おカネに替えて学校に寄付するわけさ」。僕は重たいリュックをかついで行くなんてイヤだと思いましたが、あしたは開校記念日で学校は休みだし、あとで好きなゲームソフトを買ってくれるというので、我慢していっしょに行くことにしました。

バスと電車に乗ってソーカイの会場につきました。会場は僕も行ったことのある日比谷図書

館のそばの大きなビルです。9階の受付で僕はビックリしました。一列に並んだ受付にはキレイな女の子がずらり、僕はどこかの女子大の同窓会と間違えたかと思いました。

でもオタオタしてはまずいで、まず古書の係に本を渡ししました。キレイなお姉さんが「坊や、ありがとう。重かったでしょ」なんて頭を撫でてくれたので少しうれしくなりました。

時間になって集まった人たちがぞろぞろ講堂のようなところに集まって会議が始まりました。オジイさんやオバさんやお兄さんやお姉さんまで166人集まったそうです。今年の世話役の96期のお姉さん（もちろんキレイな）の司会で議事進行。静岡から参加してくださった母

キウコウをアタタメたりし始めました。僕は退屈してテーブルに並んだお料理を片っ端から摘んで歩きました。キレイなお姉さんがチョット僕にウインクしてローストビーフを山盛りにしてくれました。サイコー！！

先輩後輩入り乱れてのダンロンフーハツで盛り上がったところで、恒例の甲子園情報が始まりました。野球部後援会長の阿部裕之さんがことしの春と夏の静高野球の活躍を紹介しましたが、すぐに外野から「春も夏も成績なんか知っているぞー！ それより敗因はなんだ敗因は！」「そうだ、そうだ！ 選抜で駒大苫小牧にバカ勝ちして東海大相模にボロ負けした、



勝因と敗因は何だ！でも全国の強豪と互角に勝負したなんて立派々々！静高野球も今や全国区だ！」「夏は残念だったな。おれたち草薙で応援したのになあ」……会場は騒然。僕は考えました。甲子園となると何故みんな熱くなるのでしょうか。おじいちゃんだってふだん野球に関心なんてない、プロ野球のテレビ中継もめったに観ないし、お仲間にも野球部出身なんか一人もいない。どうも不思議です。おじいちゃんの周りでは、野球の話から亡くなった仲間のこと、孫の自慢バナシから年金の

こと……アルコールもだいぶ入ったみたい……僕は若い人やお姉さんたちにチャホヤされていい気分になりました。いま静高の生徒は半分女性だって、おじいちゃんが聞いたらきつと目をむくに違いなけれど、きつと楽しいだろうな、静高生活って。

払ってフラフラな人もピシツとして……さすが静高同窓会で。外はもう真つ暗、「また来年も会おうぜ！」「達者でナ！」……僕のおじいちゃんも名残惜しそうにお仲間と別れました。おじいちゃんが言いました。「どうだ、静高の同窓会は？ いいもんだろう」僕は「ウン、若い人やお姉さんたちもいっぱいいて楽しかったよ。来年も来てあげよう」。

めん。静高の同窓会幹事の仕事を抜けて来た。あ、見原さんだ！よかった」アドレス変更を報告し忘れ、行方不明リストに入っていた私を、N君はずっと探してくれていた。歴代の精鋭の群れが一堂に会する総会。想像するだけで気後れし、それまで出たことがなかったが、参加を決めた。

静岡の総会は圧巻と言う外なく、幹事の奮闘がずしりと伝わってきた。95期の打ち上げで、Yさんと卒業以来、初めてお喋りした。程なく彼女のお取り計らいで、関東95期のメーリングリストに登録してもらった。おかげで関東同窓会へデビューできた。



ニュースパーク(日本新聞博物館)にて。95期の仲間と一緒に(写真右端が筆者)

特集

わたしと俳句

駅南猛ダツシユ

95期 見原万智子

進めとも止まれとも

言わぬ桜かな

高一までさつき町の借家に住んでいた。庭付き二階建てで四部屋あったが、何せ八人家族。玄関の上がり框に接する畳二枚が私の部屋で、お下がりの机の脇を家族が行き交っていた。夫婦喧嘩は日常茶飯事。そこへ祖父母や年若い叔父叔母たち

が次々に参戦していく。が、翌朝はきちんと「おはよう」を交す。歯を磨いたら次の者のためにポンプで水を汲んでやる。万事そんな調子だった。

静高の入試が迫り、定時制を受験するS君に頼み、放課後、高松中学校を出発し一緒に自転車で行った。初めて目にする校舎は雨に煙っていた。入試の日も雨だった。久能の方から迎えに来たS君について八幡の踏切を渡った。お礼は何て言おう？ 正門が見えてきた。「頑張つて！」彼は右手を

わずかに上げた。在学中、たまに学食でS君を見かけた。バイク通学に替えた彼は一挙に大人びて、部活が終わって小腹が空いただけの私は、気づかぬふりをしてすれ違った。

時を重ね一昨年、高中のクラス会で、S君が入試の日の話を始めた。「あの時の万智子の言葉、嬉しかったよ。俺は静高に入ってから、勉強ってこんなに面白かったのかって人生で初めて知って、すげえいっぱい勉強したぜ」そこへ、同じクラスから静高へ進学したもう一人、N君がダツシユで現れた。「遅れてご

まだまだ、ほんの一端を垣間見たに過ぎない。私自身は、二、三年前からスマートフォンで撮った写真に自己流の句を添えて、たまにフェイスブックに投稿している。最初に作ったのが冒頭の句だ。

当時、「何故生きていなきゃいけないのか答えられる？」と問うほど落ち込んでいた、ある若者がいた。「何故って、そりゃあ、たまには生きてて良かったと思える瞬間があるから。何より、君に明日の朝また会いたいから」と答えたが、全く納得してもらえなかった。ならば作戦を変更しよう。彼の周りの事物を俳句にして、遠回しに励ました。祈りながら。

投稿を読んだかどうか謎のままだが、つい最近、彼は進む方を選んだ。さてこの夏、夫とともに焼津市内のホームへ姑を、続けて母

を訪ねた日のこと。帰りの新幹線が気になり始めたとき、急に雨脚が強くなった。が、タクシーを待つより早いと分かり、南口まで歩いた。

その夜は「楽しかったあ。お前も好きな五十三次の、あの絵の中に入っちゃったみたいでさ」「それぞれ!」と大いに盛り上がった。絵の外に使い込まれた傘が一つ、いつまでも見えていたよ…

広重の白雨へまろぶ傘二つ



妄想俳句鑑賞

95期 島田 淳

俳句は難しい。なので、まず同期の見原万智子さんから教えてもらった文豪の故事の引き写しから始める。

夏目漱石は、寺田寅彦の「俳句とは何ですか」という問いに対して、「扇のかなめのような集中点を指摘し描写して、それから放散する連想の世界を暗示するものである」と答えている。この意味するところは、句から広がる世界が立ち上がるように詠まねばならないし、受け手の側も連想の世界(イメージ)を受け止める力が必要になると

いうことであろう。現代風に言えば、受け手のPCに解凍ソフトやEXCELがインストールされていないければ、ZIPファイルの見積書一枚すら見ることもできないというのに近い。

かと言って、作者に句の意味を一つ尋ねるわけにもいかない。句作者は、身を削るようにして自分の世界を十七文字に表現しているのである。「すいません。わかんないんで説明してください」とは到底言えるものではない。

ここで重要なのが、先達による句の鑑賞である。

会報第84号の恩田侑布子さん(91期)の記事に誘われて、主催されている様(あらき)俳句会のWEBサイトを見ていたところ、川面忠男さん(75期)の寄稿に目が吸い寄せられた。恩田さんの句の朗読会のレポートで、いくつかの句に手際よく鑑賞文を付けられている。

富士浮かせ草木蟲魚初茜

「元日の朝日に輝く富士山は何度も見たが、草木蟲魚までは想起しなかった。草木蟲魚、つまり命あるものまで初茜を賛歌していると感じるのは非凡な詩人ならではのことだ。魚の一字で初茜に光る駿河湾までイメー

ジする大きな景の句である。」と川面さんは書かれている。

私のような初学者は、この簡にして要を得た鑑賞を読んで初めて、日本平や丸子の満観峰の上から富士と駿河湾を眺めている自分だけでなく、新春の凜とした空気感までもイメージすることができ

る。

そしてもう一度句を音読することで、富士の手前にある街や低地にたなびく雲をイメージし、「浮かせ」という語の正しさと、川面さんの「大きな景の句」という意味を再認識するのである。

恩田さんの句は、スケールの大きなものが多い。土木構造物のような意味の大きさではなく、冒頭の漱石の言葉を借りれば「それから放散する連想の世界」が大きい、イメージの射程距離が長いという感じがする。

例えば、次の句は半世紀以上の時間を越えた二つの名曲を想い起こさせる。

こないとこで
なにいうてんねん冬の沼



写真撮影：山本 均 (95期)

職業・医師。日曜写真家。雑味の無い美しい郷土の写真は、スライドショーにまとめられ、2年連続で関東同窓会総会のオープニングで上映された。

(動画は右QRコードで→)



不世出の男性ジャズ・ヴォーカリスト、ビリー・エクスタインが作った「I WANT TO TALK ABOUT YOU」(1944年)という名曲がある。

「Don't tell me about a night in June/Don't tell me, 'cause I want to talk about you./

あの滝についての話はもういいわ/コオロギが優しく鳴くその木陰も/

月や星の話や、火星の表面の物体についての話も/

そんなことより、あなたが私を愛しているかどうかの答は/

天国の扉の向こうに飛んでいつあったの? (大意)」

あなたが真面目で誠実な人だとわかってるから、わざわざ

私のイメージでは、「10代のカップル」が沼のほとりでデート。
愛の言葉を期待する女性に対して、沼の植生や冬至の日照時間について話し始める男。
「さつさと告白(コク)れよ、ほれほれ」と囁くキューピッド。
以下、筆者の考えの根拠を述べる。

人気（ひとけ）の無い場所まで一緒に来たのに。

不器用な若い男が、場違いな話をして女性をやきもきさせてしまっている。6月の月影の滝と、おそらく冬の陽も傾いた沼のほとり。季節と場所は違えども、人影の無い場所という点では共通している。私が「なにいうてんねん」の内容を上記のように推測する理由である。

もちろん、冬の沼地の冷たい空気と柔らかな陽射しのイメージは、6月の滝とは異なる。私が「10代のカッパル」と想像する根拠は、大人なら冬場に麻機沼のほとりでデートしないだろう、という偏見に基づくものに過ぎない。しかし、そうであるが故に、寒暖入り混じる空気感が「青春」を想起させるのである。

この曲から半世紀以上が過ぎた2001年。不器用な男の側からの「返歌」が大ヒットした。バンプ・オブ・チキンの『天体観測』である。こちらは深夜二時に踏切で待ち合わせて天体観測をする若い男女の歌である。

「今まで見つけたモノは 全部覚えてる／君の震える手を握れなかった痛みも」
「背が伸びるにつれて 伝えたい事も増えてった／宛名の無い手

紙も崩れる程 重なった」

「もう一度君に会おうとして 望遠鏡をまた担いで／前と同じ午前二時 フミキリまで駆けてくよ」

始めようか 天体観測 二分後に君が来なくとも」
そして、この曲は次の歌詞で終わる。

「イマ」というほうき星 君と二人追いかけている」

出すあての無い手紙を書き、「君」と語り合った夢や理想（『イマ』というほうき星）を一人でも追い続けるのに、目の前の女性の手を握ることに、人影の無い深夜の踏切であつても躊躇してしまう。

洋の東西を問わず、男の純情というのはこういうものなのである。

恩田さんの句は、このように半世紀の時間を越えたイメージを立ち上がらせる、射程距離の長いサーチライトのようなものである。そして、このことは、古今東西を問わず人間の感情はそれほど大きく変わるものではないという事を思い出させてくれる。

最後に、俳句をこんな「自由な」読み方で解釈してよいのかについて。

関東同窓会WEBサイトでも紹介された日本近代文学館の

「第91回声のライブラリー」には、恩田さんと一緒に文化功労者・高橋睦郎氏は登壇されている。高橋睦郎氏は著書『季語百話』（中公新書）の中で、江戸初期の俳人・捨女（すてじょ）の句を取り上げ、

「これは『万葉集』冒頭の男性側からの『家聞かな 告（の）らさね』という呼びかけに對する、時代を超えた女性側からの答えでもあろう」

と述べている（「摘草」の項）。文学史的な意味での因果関係はさておき、その時受け手の心に立ち上がったイメージを語ることは、自由な芸術である俳句においてはむしろ推奨されることなのかも知れない。

ただし、そのイメージを語ることで「そう思うのは、あんたがモテなかったからだよ」と一蹴される危険性も大。俳句とは、句作者にとつても、受け手の側にとつても、自己の人生観を問われるアブナイ芸術なのかも知れません。

自由の追求の果てには、漱石の言う「扇のかなめのような集中点」の向こうに、個人の人生観や来し方行く末がうつすら透けて見えてしまうのですから。

蓮沼の底なほ昏し寒昂かんすばる

蘆野鶴人

言葉の面白さ

89期 笠松 一久

ラン・バルトによると俳句とは、「意味（性）の中断」つまり「意味するもの、意味されるものの中断」と定義し、彼の後年、フランスでの思索活動の起爆剤となりました。

芭蕉 荒海や 佐渡によこたふ

天の川

其角 竹の音 許由のひさご

まだ青し

子規 八石の 拍子木なるや

虫の声

シニフィアン・シニフィエの中断、誠に鋭い指摘と賞賛すべきでしょう。言葉は、「意味を思考を思索を繋ぎ、紡ぐもの」それを敢て中断させるとは。※1

皇后陛下諸葛孔明真桑瓜

くつの音や 奇門通行

まくわうり ※2

意味を中断させる事により、人は新しい人生を生きることが可能になるのかもしれない。

※1 この流れは、大野晋先生・丸谷才一先生・井上ひさし先生へと脈々と続く。

小澤昭一さん ひさし先生

作一人芝居「はせを通夜舟」参 ※3

※2 奇門通行秘及法 諸葛孔明

事を進めるに於いて、すべからく三吉門と、三奇を合わせ取ること

又、陰神のちからも、これに合わせ取ること これを「三詐」といふ

三詐を得たうえで九地に位置し、再び吉門にいることを「重詐」と称する。

「天武と持統」

李寧熙 イヨンヒ

※3 このお芝居は、井上ひさし先生傑作、とても面白い。

先生は、弟子其角の目からみた、師匠を描いているのかも。江戸の其角さんからみたら、「ぼつと出の芭蕉」は田舎モノ。一方、其角さん、大阪西鶴さんの三千首連歌会を見に行ったほどの酔狂モノ

始めのうちから 弟子として仕えたのではなかったかもしれないとの兆候は、おくびにもださなかったのだが。

弟子といふものが 一般に目立ったものであつたならば世間様は 彼を弟子だと思つたことであらましよう。

檜熊せつちんから、最後 芭蕉のお弟子さん（其角含）と、昭一さんが淀川くだりの通夜舟に乗り込む。

最後の部分 昭一さんがのたまって曰く

ここから、原文をお楽しみください。

「三十六 通夜舟」

高弟たちは動かない。...もうすぐ うどん舟が流してまいります。

呼び止めましょうな。うどんはあったまりますよ 番頭さん

(俳句のこつは、俗っぽくちよいとふざけて 目先を変えての この三つだよ)と教えてくれましたので、そのこつをお題目 宜しく何口となく唱えて、それで出来たのが(蚤一匹 小町に帯を)

解かせけり)

このこつを発明なさったのは、お江戸のなんていいましたかな・・

や、先生方、うどん舟がきました、呼びますか？」

井上ひさし全芝居 その3



俳人恩田侑布子さんが、静岡市の丸子待月楼でポール・クロードルの『百扇帖』について講演。「俳句あるふあ」冬号(12月15日発売)で大特集(18ページ)されています!

芙蓉花咲く球友の絆

94期 松永 啓(浜一番)

聖地百回大会の猛暑下で北国の県立校金足農が大躍進のさなか、草薙にも希望が芽ばえた。秋初戦で静岡に大敗した新チームが敗者復活戦に臨むスタンドに驚くべき現象。現役応援指導部女子7名が残暑の連戦応援に決起しOBブラン女性達が熱演で呼応した。チームは蘇生し、力強い勝利が5つ続いて、県16強戦は浜松で浜商と熾烈熱闘、遂に9回裏連打猛攻逆転した。愛鷹へ転戦し知徳に勝ち草薙に凱旋するも、御殿場西の名将森下野球に厳しく叩かれ、再度の愛鷹で、なりふりかまわず加藤学園から県3位をもぎ取った。この間、試験日以外、全試合関わった女子応援団とOB吹奏楽団は錦秋の陽に咲く芙蓉花だった。70期台の万年応援青年(大先輩)が「上を向いて歩こう」と、おかつば女学生と草薙の楡の木陰で腕組んで、鶯のからまる球友チャペルに、フルートの音色清しい応援賛美歌意気若し。

10月20日東海初戦は、津で中京大中京(愛知2位)と。70期望月一男三塁手(岳南球友会長83歳) 自家用車助手席の私は、名港洋上ブリッジ群を快走し

「こちら球友車、天気晴朗、伊勢湾に光満つ」と、後部座席のナイス球友ミディ津アー?還暦前旅行?の輝き?をラインに流した。津の昭和喫茶で謎の必勝饅頭を戴き「名古屋ん衆とえゝ試合をするらにゃくみそカツ」と一同勇躍。そして中京の「安定し鋭いサイドスロー投手」「剛速球をポンポン決める大型1年投手」から4安打の吾等が駿河おでん打線?甲子園最多勝王者中京の打棒が烈火を噴き2-11コールド大敗。天を仰いで



錦織浜松に岳南の芙蓉花

津球場で全国合同公演?



大きく息をつき・嗚呼4年前、あの伊勢の神風3連発から、よくぞここまで闘い続けた。その輝く日々感慨迫り老若男女感謝合掌・。その晩、十人の球友忍者のいちが甲賀の隠れ里に集った(写真)。岳南一党の

被災地の秋祭りに絆を実感

震災八年目、進む再建、山積の課題

静岡関東同窓会有志による恒例の岩手ツアーを九月十六、十七日に行った。今年「秋祭り」をテーマに、三陸の被災地復興の現状や、地域コミュニティ再生の姿などを見学した。震災から七年半を経過し、現地

では道路や街の再建が進むが、人口減少など多くの問題に直面する。課題に改めて考え込む一方、祭りの舞いや太鼓の響きに大いに元気をもらった。

ツアーは現地NPO「Save Iwate」をベースに復興支援活



ここ何処?私誰?球友入信?(笑い)

動を展開する寺井良夫氏(92期)の陣中見舞いを兼ねて二〇一四年から毎年実施している。今年は静岡から足を運んだ仲間も含め、87、92期から十二人が参加した。

高台の住宅、海を遮る防潮堤

復興現場の見学では、宮古市の田老地区を四年ぶりに訪問した。「万里の長城」といわれた巨大防潮堤は東日本大震災に伴う津波で破れ、集落は壊滅した。二〇一四年五月に訪問した際には、高台に宅地の整備が始まり、平地は道路建設が動き出した状況だった。

今は平地部に「道の駅たろう」や店舗、野球場などが整い、高台には新設の家が立ち並ぶ。ただ、住民は高齢者が多く、坂道

を行き来するのは楽でない。減少了した人口も戻らない。案内してくれたNPO法人「立ち上がるぞ!宮古市田老」の大棒秀一理事長はそんな課題を指摘しつつ、「未来への津波遺産として伝承し、新しいまちづくり役に立てれば、犠牲者への追悼にもなる」と語る。

山田町では牡蛎の養殖現場を見学した。湾に浮かぶいかだは約二千。六〇メートルの縄に牡蛎のタネを付けて海に降ろし、二年ほどかけて大粒の実に育てる。津波ですべてのいかだが流されたが、ここまで復活した。

各地の海岸沿いの道路は頑丈に整備され、巨大な防潮堤が築かれていた。海は全く見えないう。これが三陸沿岸の新しい風景だ。参加者は様々な思いを胸に、コンクリートの壁を眺めていた。

地域コミュニティ再生

秋祭りは、宮古市の中心部と山田町で楽しんだ。震災後の地域コミュニティ再生において、祭りや伝統芸能が果たした役割は計り知れない。

「みやこ秋祭り」では、十六日夜に船山車や手踊りのパレードを見学。地元の「山口太鼓の会」による太鼓演奏の響きは、

体の奥底まで伝わってくる迫力があつた。

翌十七日には「山田祭り」を見学した。ここでは神輿を船に乗せ湾内を回る曳船儀式が行われるほか、伝統芸能保存グループが町中で行列や舞いを繰り広げる。御祝儀を出せばその家、個人のために踊ってくれる。

我々一行も山田大神楽と境田虎舞を演じてもらった。山田大神楽の獅子舞は演舞の途中で我々の頭を噛み、邪気を払ってくれた。虎舞の動きはダイナミックで、一日に「千里往って千里還る」勢いを彷彿させるものがあつた。

いずれの祭りも若い人の参加が際立った。獅子舞は小中学生の少年少女が先導していた。虎舞は若い青年が舞い、十歳代と思われる少女らが囃子を演じていた。みやこ祭りの山口太鼓や南川目さんさ踊りのグループは、年配者に多くの若手が交じる構成だった。祭りを通じた地域コミュニティの絆を感じた。

盛岡から三陸への途上、Save Iwateのくるみ栽培地を訪問、樹皮の収集や実の採取を少し手伝った。くるみの実の販売や樹皮を使った籠の作成は、Save Iwateの事業の一環だ。

宿では三陸の幸を肴に、期の垣根を超えた懇談が続いた。「復

獅子舞にたっぷり噛まれ福の秋(山田町)



若人の虎舞はつらつ天高し(山田町)



興って何だろう」「静岡や東京で災害が起きたら、我々は何ができるか」などと論じ合い、地域コミュニティはもちろん、学縁、遊び仲間などを通じたネッ

堤防を超える潮の香鱗雲(宮古市)



牡蛎いかだ海に一面秋祭り(山田町)



トワークの重要性を改めて共有した。

(87期、92期有志)

復興の街を見渡す風は秋(田老防潮堤にて)



古書コミ

総会にて 母校に図書券贈呈

平成29年度(2017年度)に実施した古書コミの買取金額は、合計9,346円となりました。本年も総会会場にて、9,500分の図書券を多賀谷会長から母校へ贈呈することができました。ご協力ありがとうございました!!

別掲の図書6点を購入していただきました。

今までの活動記録を在校生にも知ってもらうため、冊子として、手に取ってもらえるようにしました。



図書券 母校図書館・「関東同窓会古書コミ」コーナーに



第64回 青少年読書感想文全国コンクール 読書部賞 高等学校の部 3冊
『わたしがいどんだ戦い1939年』 キンバリー・ブルビイカー・ブラッドリー 評論社 2017.8 1,728円(税込み)

『きいず大ラッキー 捨てられた命と生きる』 小林照幸著 毎日新聞社 2017.4 1,620円(税込み)

『いのちは贈りもの ホロコーストを生きるひて』 辻村深雪著 岩崎書店 2017.7 1,728円(税込み)

『東大料理愛好会が教える青葱レシピ かしい飯は、毎日のごはんから! 保瀬理恵監修「シャトルシェフ」で、家族もラクラク!』 東大料理愛好会 データハウス 2014・10 1,317円(税込み)

『東大料理愛好会類がよくなるレシピ 東大の朝飯が作った、頭がよくなる栄養とレシピ33選!』 東大料理愛好会 データハウス 2015.2 1,404円(税込み)

『合格賢者レシピ80 受験生をがんばる応援! 藤原菊紀監修 法研 2016.10 1,674円(税込み)』

寄贈図書カード 9,500円
6冊 合計 9,471円

古書コミ・カードによる新たな母校購入図書

特集!! 古書コミレシピ…作り方

材料 善意の本 新鮮(新品)でなくても、バーコード付きなら袋 (古新聞集荷の袋など) 段ボールの代用として
ガムテープ マジックインク
少々筋力 (隠し味)

たくさん善意の本を、さらに善意の力で取りまとめます。少々筋力も必要。これは隠し味程度。

集まった本を梱包するため、丈夫な袋を2枚重ねで使用します。本当は段ボールに詰めたいところ、会場までさすがに段ボールは持ち込みが大変です。代用として紙袋でも梱包して送付は受付OKです。



今回は3袋となりました。送り状には、関東同窓会の住所と銀行口座番号、メールアドレス、電話番号など指定用紙に記載して、本人確認のための証明書など入れて毎回送ります。送り状入りの袋には『送り状あり』とマジックインクで明記します!!

梱包済みを倉庫に移動し、いったん預けます。中古本買取業者に会場から電話して、取りに来てもらう日程を伝え、(いつも翌週月曜日の午後)クロネコヤマトが引き取りにきます(送料無料)。

毎回、いろいろな方のご尽力で、素敵な味に出来上がっております。

(チーム古書コミ・90期 山下雅子)



集まった本

古書コミ報告

7月6日 実施
金額 15,700円

7月6日に開催された同窓会総会で、第9回の古書コミ活動を実施いたしました。今回も多くの本をご持参いただき、同窓生同士で交換をし、また交換さ

れなかった本については、買取の結果今回は、1,570円となりました。
来年2月に開催予定の各期幹事会での買取金と合わせて、母校に図書券として寄贈する予定です。幹事会ご出席の際には、バーコード付の読み終えた本ご持参のうえ、ぜひ古書コミ活動にもご参加ください。

「自著紹介」

「爛柯の宴」

「スピニング・ジョー」

94期 松井 琢磨

今年の四月に「爛柯の宴」という小説で念願の作家デビューを果たしました94期の松井と申します。その後「スピニング・ジョー」上中下三巻と「爛柯の宴」第二話も刊行となり、今年已全部で五冊の本を出版することとなりました。

「爛柯の宴」は囲碁にはまっていた大人を描いた、大人版「ヒカルの碁」といった趣の囲碁愛に溢れたファンタジーです。ミステリー仕立てなので、囲碁の好きな方は勿論、囲碁を全く知らない方でも楽しんで頂けると思います。

一方「スピニング・ジョー」は理不尽な日本の企業文化に馴染めずに、自分の夢を追い求めて海外へと飛び出した若者が、異文化の壁にぶち当たり過酷な競争社会の現実を目の当たりに

しながらも、成長して夢を追いつける姿を綴った群像劇です。90年前後のニューヨークが舞台ですので、当時を懐かしむ方にお薦めですが、社会人として人生の指針に悩んでいる若い方達にも是非とも読んで頂きたいと思います。

両作品とも、スターティアラボという電子書籍専門の出版社から出版したので、アマゾンで注文する形になりますが、紙で読みたいという方のためにペーパーバック版も用意されています。

お蔭様で、両作品ともアマゾンの新着ランキングで六位まで上がり、数多くのカスタマーレビューも書き込まれ、ご好評頂いております。特に、「爛柯の宴」は、「囲碁は全く知らないけど、この本を読んでやりたくなった」という書き込みが多く、大変嬉しく思っています。

私はもともと作家志望ではなかったのですが、富士通、日本興業銀行（その後みずほ）、マ

ネックス証券でキャリアを積んでから九年前に独立し、宮仕えから解放された気安さもあったて、暇を見つけて執筆するようになりました。最初の作品を半年ほど書き上げたまではよかったのですが、どの出版社も素人の持ち込みは門前払いで相手にされず、結局なんだかんと言つて出版まで二年かかってしまいました。最後は何とか電子

書籍出版社の目にとまり、ようやく出版までこぎつけることが出来たので運が良かったと思っています。

九年前の独立以降、M&Aアドバイザーを本業としてやってきましたが、今後は二足の草鞋で執筆活動も続けていきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

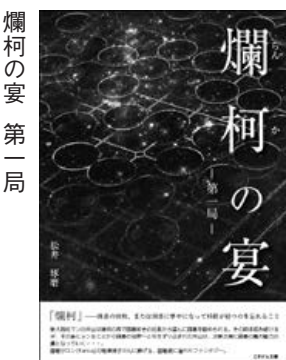
芙蓉乃会

大人女子の社会科見学 11月

静岡のオリーブ栽培の話など普段知れないふるさと情報をも取り交わし、トークのほうも満開でした。10月開催された異業種交流会の話をふりますと、「子供が出席しました。」と、次の世代にも脈々とつながっており、これまたうれしい話でした。記念撮影後（左記掲載）、99

期尾高館長から、じきじきの案内という贅沢な時間を過ごしました。丁寧な説明いただいたので、こちらもゆったり、じっくり堪能してきました。その日本新聞博物館では、思いもかけず、子供のころ読んでいた、ふるさと静岡市（静岡新聞）を再認識・再発見してきました。

全国の新聞社の中でも、ユニークで、新規性に富んだ経営方針を打ち立て、今日に至って



爛柯の宴 第一局



スピニング・ジョー 上



いるとのこと、さて、それは何か：まだいらしたことのない方は、ぜひ、実際に博物館に足を運び、現地取材してください。

19年の総会・懇親会は 7月5日(金)に 開催します！

静中・静高関東同窓会総会・懇親会は毎年200人以上が参加する楽しい「静高祭り」です。2019年度は7月5日(金)に18時から、日本プレスセンターで開催します。

幹事期97期の皆さんを中心に準備が進められています。

『冬の総会』幹事会を 2月15日(金)に開催 「古書コミ」も行います

静中・静高関東同窓会の各期幹事会を開催します。『冬の総会』に位置づけられる会合で、楽しく有意義な会です。会の名称にかかわらず、幹事さんだけでなく、多くの同窓生のご参加をお願いします。各期ごとに誘い合ってください。

「校歌・逍遙歌唱和」など特別イベントも行います。恒例と

(11頁最下段へ続く)

世代を超えた同窓の絆・異業種交流会 奮って参加を！

1月25日に第22回 4月26日に第23回を開催

静中・静高関東同窓会の異業種交流会は、毎回世代を超えて多くの方々にご参加いただいております。楽しく有意義なひと時を共有しましょう。ツイッターでも発信されています。

（静中・静高関東同窓会異業種交流会）@shizukoukantanu

なお、静中・静高卒業生の皆様のほかに、「友呼び」といたしまして、同窓生の同伴を前提に、ご家族をはじめとする卒業生以外の方の参加をご依頼し、より有意義な会にして参りたいと思います。

先輩・後輩・お客様等に一声おかけ頂き、ご参加いただきたいと思ひます。さらに交流の輪を広げていきましょう。

【第22回目】 2019年1月25日(金)午後6時30分～8時30分

ファーストスピーチ 金子真大氏(132期) B E I L代表取締役(東京大在学中)

【第23回目】 2019年4月26日(金)午後6時30分～8時30分

幹事 89期 笠松一久 119期 青山亮介

会場 日本プレスセンタービル

日本記者クラブ9階大会議室

会費 5千円

家族・現役学生3千円

ご参加は下記にご連絡ください。

い。

Eメール kkasamatsu-rep

@wine.ocn.ne.jp

またはFAX 03-3257-0820

(静中・静高関東同窓会事務所)

なお、18年10月26日(金)に開催された21回異業種交流会では30人以上が出席。杓谷匠・アトラ合同会社コンサルタント(119期)のファーストスピーチ「IT事業の今後の展開」をきっかけに歓談の輪が広がりました。



第21回異業種交流会(18年10月27日)

関東同窓会が結んだ嬉しい出来事

静中・静高関東同窓会の異業種交流会はさまざまな出会いがある有意義なイベントですが、この会をきっかけに同窓生同士が結婚するという嬉しい出来事がありました。杓谷匠さんと宇佐美暁子さんです。1月の交流会をきっかけに意気投合、結婚パーティーが11月に日本プレスセンター「アラスカ」で開催さ



プレスセンター「アラスカ」での結婚パーティー

れました。お二人は「プレスセンターは同窓会総会・懇親会も開かれる思い出の場所ですのでパーティー会場に決めました」と口を揃えていました。

10月の異業種交流会の後、参加者は日本記者クラブ・ラウンジでお祝いしました。これも同窓会の一つの役割かも知れませんね。



日本記者クラブ・ラウンジでのお祝い会

◆原稿・写真を募集します！

静中・静高関東同窓会の本会報(年2回＝6月、12月発行)とホームページ(随時更新)は、同窓生と関係者が老若男女問わず行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同期会等の開催、同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセーなど、お気軽に投稿してください。ファイル添付で以下のメールアドレスにお送りいただければ幸いです。郵送の場合は左記関東同窓会宛にお願いします。

会報は

yamak@recordchina.co.jp

(八牧)

ホームページは

isrikawa@yu-to.jp(石川)

静中・静高関東同窓会事務所

東京都千代田区神田鍛冶町

317113 藪下ビル6F

野方法律事務所内

なった「古書コミ」も併せて実施します。

日時 2019年2月15日(金)

午後6時30分～8時30分

会場 日本プレスセンタービル

9階会場

会費 5千円

ご参加申し込みは、各期幹事宛てもしくはFAX 03-3257-0820(静中・静高関東同窓会事務所)へお願いします。

横浜港を

有志9人で散策

11月吉日、79期有志9人で山本勝氏(日本郵船の船長で専務)の企画案内で横浜港を散策しました。

前日までの雨もやみ爽やかな日に、まず桜木町駅前の帆船日本丸(国の重要文化財)を次は横浜みなと博物館、昼食後日本郵船歴史博物館、最後に豪華客船氷川丸(国の重要文化財)を見学しました。各施設で山本氏の友人が特別なガイドをして下さいました。岩崎弥太郎が勝海舟、坂本竜馬の遺志を継いで資源のない日本は海運を発達させ世界に出ていかなければならない信念で日本郵船を設立した話。日本郵船の歴史は日本の海運の歴史であると言いつける誇りは印象に残りました。



氷川丸

参加者の江川豪雄氏(元三菱重工副社長)の旧三菱重工横浜工場の話、現在の造船業界の苦境の話など興味深いものでした。

横浜中華街で晩ご飯を食べました。山本氏から船はチームワーク、和の心がなければ動かない話や北太平洋航路の厳しさ(30メートルの大波、夏の濃霧など)、格好のいい船長の制服は会社の支給ではなく自腹だったなどの話を聞きました。一杯学習して腰も頭も疲れましたがいい友を持った幸せを感じ、ふるさとの友に感謝する1日でした。(79期 上田 尚亮)

ハモバンOB演奏会&懇親会に70人

19年間だけ存在し廃部になったハモニカバンドの創部60周年記念の演奏会&懇親会が11月7日に静岡のホテルで開催され、70人以上が集まりました。OBは75期が最年長で、最も若い世代が93期。半世紀ほど前に音楽を愛好した少年少女はシニア世代となりましたが、結束力が固く、東京と静岡で練習会を定期的に開き、そのあとの懇親会で盛り上がります。

テーマ曲の「古いフランスの歌」や「白鳥の湖」から「恋はみずいろ」「シエルブルの雨



ハモバン60周年小冊子



ハモニカバンドOB演奏会

傘」「ゴッドファーザー」まで8曲を演奏。ハモニカはもちろんヴァイオリン、チェロ、オーボエ、アコーディオン、キーボード、ピアノなども加わり、聴衆(といっても大半が関係者?)から拍手喝さいを浴びました。ハモニカバンドの変遷を伝

える小冊子(写真)なども刊行。思い出話に花が咲きました。(本会報17年12月号「還暦を迎えるハモニカバンド」ご参照)

〈規約改正の件〉

平成30年度総会の折、提案させて頂きました「規約改正案」につき当日皆様から2カ所のご質問、ご指摘を頂きました。今般そのご指摘主旨を踏まえ、同箇所を以下の如く修正させて頂きます。なお本内容は同年9月の理事会でご確認を頂きました。

◎修正箇所

①第8条(議決)

現行…会議は全ての出席者の過半数の多数をもって決する

修正…「多数を」→「意見を」

②第13条(任期)

現行…補欠者の任期は前任者の残存期間とする

修正…「補欠者」→「任期途中での交代があった場合その後任者の任期は」

以上2カ所です。各位ご確認をお願い致します。なお本件は平成31年3月の理事会において再確認の上施行させて頂きます。

関東同窓会費納入のお願い

関東同窓会は会員の会費(年間3千円)で運営されており、同窓会費の集まりは多いとは言えません。同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願い致します。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

個人のお客様も法人のお客様も！
各社の保険を扱うことができるため、一人一人に合わせた保険設計をさせて頂いております。保険のセカンドオピニオンとしてご利用ください。法人のお客様向けには、事業保障・相続・承継対策として、プロのファイナンシャルプランナーが幅広くサポートをさせて頂きます。

ファイナンシャル・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル10F

ファイナンシャルプランナー (2017年MDRT会員)

青山亮介 (119期)

090-9931-0929 お気軽にご相談ください！



お一人様でも団体様でも！

カラオケバー BAR K

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1丁目12-7 三恵31ビル7階 C号室

TEL 03-5423-2287

オーナー 青山亮介 (119期)

090-9931-0929



日本マテック株式会社 NIHON MATECH CORPORATION

代表取締役社長 松島 勤 (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメエール435 1F
TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>

編集後記

▽特集「私と俳句」は、現代俳壇を代表する恩田侑布子さん(91期)の本会報エッセー『俳句と出会った静高時代』(17年12月号)がきっかけとなりました。川面忠男さん(75期)の味わい深いエッセー(18年6月号)に続く、今回の3作品も文学的水準の高いものばかり。今後もリレー形式で続けますので、お気軽にご寄稿いただければ幸いです。

▽7月の総会・懇親会の報告を読むと、有意義な講演や楽しかった歓談風景が甦ります。来年も総会・懇親会、各期幹事会、異業種交流会(年3回)など盛り沢山。是非ご参加ください。

不動産のことならお任せください
最初から最後まで私自身が動きます

(株)自由が丘不動産ソリューション

代表取締役 曾根 正裕 (95期)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-7-21-013
TEL 03-6809-7803 FAX 03-6809-7903

高きを仰ぎて心を繋ぐ 学び合い語り合い、
時空を超えて 繋ぐ岳南球友の心。
さあ一緒に吾等が聖地を駆けましょう。

岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)

H P「岳南球友会」
連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)
メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8
阿部ビル 1 階
03-6273-8663
<http://shizukaoden-guts.red>

代表：市川徳二 (112期)

幼児教育に新しい風を



代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815

Lighting For Your Safety

Koito

<http://www.koito.co.jp>

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願いです。
グローバルサプライヤー 小糸製作所

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他
小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)

代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7

TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)

東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16

T 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5

F 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8

architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

www.rvstone.com



2018年2月18日 各期幹事会 (冬の総会)

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

戴下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

相談役・主筆 八牧浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館7F

TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼2時より夜11時まで診療 *

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 ^{ワラ シナ アキ オ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

みんなでわいわいガヤガヤと

ブックカフェ 二十世紀

コーヒーと軽食、夜はワイン他

貸切パーティー承ります

鈴木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4 2F

TEL 03-5213-4853

古本売買 出張買い入れ ご相談

二十世紀記憶装置

@ワンダー

鈴木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4

TEL 03-3238-7415

フリーダイヤル 0120-154-727